



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 田代 芳孝

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	97,524	7.5	3,980	39.0	3,984	39.0	2,465	44.7
23年3月期第2四半期	90,683	31.4	2,864	120.7	2,865	140.6	1,703	161.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,701百万円 (71.4%) 23年3月期第2四半期 1,575百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	87.90	—
23年3月期第2四半期	60.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	61,656		40,527		65.7	
23年3月期	61,042		38,349		62.8	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 40,527百万円 23年3月期 38,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	3.5	7,000	15.7	7,200	17.3	4,400	21.2	157.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	28,908,581 株	23年3月期	28,908,581 株
24年3月期2Q	942,240 株	23年3月期	790,678 株
24年3月期2Q	28,045,602 株	23年3月期2Q	28,118,269 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(7) 重要な後発事象	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みからは持ち直しの動きが見られたものの、世界的な金融市場の混乱を背景とした円高の進行や株安の傾向など引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業および食品関連事業それぞれのセグメント業績は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

貴金属部門では、第1四半期においては震災影響により、東北・関東地方を中心に主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が落ち込み、これを受けて当社の貴金属化成品や電子材料等の販売量は減少しましたが、第2四半期に入って持ち直しの動きがみられました。一方、貴金属原材料回収は全般的に伸び悩みの傾向となりましたが、貴金属価格の上昇から地金販売は増収となり、全体としての売上高も前年同期に比べ増収となりました。

環境部門では、震災による一時的な排出量の増加もあり取扱量は前年同期に比べ増加しました。また、写真感材の回収から得られる銀の価格上昇もあり、売上高は前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は76,862百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益3,393百万円（同35.3%増）となりました。

#### 食品関連事業

食品関連事業では、厳しい経済状況のもと消費者の低価格志向が強まる一方で、世界的な食材の値上がり傾向という厳しい事業環境が続いています。このような状況下で、すりみなどの水産品は震災による一部顧客の生産回復の遅れに加え、価格の不透明感による買い控えや練り製品市場の縮小傾向により、売上高は前年同期に比べ減少しました。一方、鶏卵や鶏肉等の畜産品は単価アップにより売上高が増加しました。また、農産品は外食産業向け販売が減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は20,695百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益587百万円（同64.4%増）となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高97,524百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益3,980百万円（同39.0%増）、経常利益3,984百万円（同39.0%増）、四半期純利益2,465百万円（同44.7%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ613百万円増加し61,656百万円となりました。これは主として未収入金の減少を上回る現金及び預金・棚卸資産・その他流動資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第2四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,563百万円減少し21,129百万円となりました。これは主として仕入債務・未払金の減少によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,177百万円増加し40,527百万円となりました。これは主として当期の利益等による株主資本の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期中6ヵ月間の営業活動により1,423百万円増加し、投資活動に367百万円使用し、財務活動により748百万円減少した結果、換算差額後の資金は前連結会計年度末に比べ316百万円増加し6,921百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は1,423百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加とそれに伴う法人税等の支払額と棚卸資産の増加および仕入れ債務の減少の差引によるものです。尚、前年同期の2,059百万円の減少に比べ3,482百万円増加しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は367百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。尚、前年同期の2,592百万円の支出に比べ2,225百万円減少しました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は748百万円となりました。これは主に配当金の支払と自己株式の買付けによるものです。尚、前年同期の2,756百万円の増加に比べ3,505百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、前回発表時(平成23年8月8日)の業績見通しを変更していません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,609	6,925
受取手形及び売掛金	19,947	20,191
商品及び製品	6,667	7,457
仕掛品	366	204
原材料及び貯蔵品	6,918	6,704
繰延税金資産	718	585
未収入金	2,597	1,466
その他	1,525	2,409
貸倒引当金	△95	△22
流動資産合計	45,256	45,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,377	5,445
減価償却累計額	△2,997	△3,133
建物及び構築物(純額)	2,380	2,312
機械装置及び運搬具	4,708	4,810
減価償却累計額	△3,740	△3,896
機械装置及び運搬具(純額)	968	913
土地	7,670	7,590
リース資産	363	351
減価償却累計額	△157	△184
リース資産(純額)	206	166
建設仮勘定	406	569
その他	599	640
減価償却累計額	△490	△519
その他(純額)	108	121
有形固定資産合計	11,742	11,674
無形固定資産		
その他	846	691
無形固定資産合計	846	691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,851	2,072
繰延税金資産	284	248
その他	1,233	1,216
貸倒引当金	△170	△169
投資その他の資産合計	3,197	3,368
固定資産合計	15,786	15,734
資産合計	61,042	61,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,416	9,922
短期借入金	—	465
1年内返済予定の長期借入金	998	698
リース債務	78	73
未払法人税等	1,410	1,561
賞与引当金	604	735
未払金	2,556	1,386
その他	2,621	2,659
流動負債合計	18,686	17,501
固定負債		
長期借入金	3,128	2,779
リース債務	128	93
退職給付引当金	276	263
役員退職慰労引当金	453	473
その他	19	19
固定負債合計	4,006	3,628
負債合計	22,692	21,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	31,884	34,012
自己株式	△782	△968
株主資本合計	38,670	40,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	83
繰延ヘッジ損益	△66	202
為替換算調整勘定	△356	△369
その他の包括利益累計額合計	△320	△84
純資産合計	38,349	40,527
負債純資産合計	61,042	61,656



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	90,683	97,524
売上原価	82,348	87,923
売上総利益	8,334	9,601
販売費及び一般管理費	5,469	5,620
営業利益	2,864	3,980
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	10
持分法による投資利益	156	265
仕入割引	31	16
受取家賃	17	30
その他	13	18
営業外収益合計	233	342
営業外費用		
支払利息	25	25
為替差損	189	253
賃貸収入原価	13	26
その他	4	33
営業外費用合計	232	338
経常利益	2,865	3,984
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
減損損失	22	—
固定資産除売却損	1	—
投資有価証券評価損	3	—
投資有価証券売却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	67	—
税金等調整前四半期純利益	2,800	3,984
法人税、住民税及び事業税	911	1,517
法人税等調整額	185	0
法人税等合計	1,096	1,518
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703	2,465
四半期純利益	1,703	2,465

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703	2,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△19
繰延ヘッジ損益	△30	268
為替換算調整勘定	△53	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△5
その他の包括利益合計	△127	236
四半期包括利益	1,575	2,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,575	2,701
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,800	3,984
減価償却費及びその他の償却費	563	548
減損損失	22	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△74
賞与引当金の増減額(△は減少)	75	130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15	△13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	19
受取利息及び受取配当金	△14	△11
支払利息	25	25
持分法による投資損益(△は益)	△156	△265
投資有価証券売却損益(△は益)	3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
固定資産除売却損益(△は益)	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,929	△273
未収入金の増減額(△は増加)	949	1,124
たな卸資産の増減額(△は増加)	△869	△435
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,097	△453
未払金の増減額(△は減少)	△1,481	△1,115
その他	510	△413
小計	△568	2,776
利息及び配当金の受取額	14	11
利息の支払額	△25	△23
法人税等の支払額	△1,479	△1,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,059	1,423
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,571	△459
有形固定資産の売却による収入	—	68
無形固定資産の取得による支出	△13	△8
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	14	—
その他	△14	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,592	△367
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	465
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△170	△649
自己株式の取得による支出	△0	△186
配当金の支払額	△337	△337
その他	△35	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,756	△748
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,929	316
現金及び現金同等物の期首残高	4,103	6,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,174	6,921

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,407	21,276	90,683	—	90,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	26	28	△ 28	—
計	69,410	21,302	90,712	△ 28	90,683
セグメント利益	2,507	357	2,864	—	2,864

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,859	20,664	97,524	—	97,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	31	33	△ 33	—
計	76,862	20,695	97,558	△ 33	97,524
セグメント利益	3,393	587	3,980	—	3,980

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(タイにおける洪水被害)

タイにおいて発生しております洪水被害により、当社連結子会社Matsuda Sangyo(Thailand)Co., Ltd.は、現在も工場の操業を停止しております。今回の洪水被害による業績への影響は、現時点においては不明であります。